



だ

い

ふ

く

- P2 特集1 あなたのまちの「地域共生社会」
- P5 赤い羽根インフォメーション
- P6 特集2 災害に立ち向かう能登半島～大分からの支援の記録～
- P8 ボランティア連絡協議会だより 二豊
- P9 ねんりんピック
- P10 あすびあ豆知識
- P11 保育士・保育所支援センター / 保育士修学資金貸付制度
- P12 広がる善意の輪 / 編集後記

特集

あなたのまちの  
「地域共生社会」



ホームページ



Facebook



Instagram

<http://www.oitakensyakyo.jp>

大分県社協

検索



この広報誌は共同募金の助成を受けて発行しています。

九重町 「東飯田地区かたろうへ」  
参加の皆様

# 特集1 あなたのまちの「地域共生社会」

社会福祉協議会では、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく「地域共生社会」の実現に向けた活動を各地で行っています。その活動は市町村によって色とりどり。今回は、県内市町村での地域共生社会の実現に向けた取り組みをご紹介します。

## ①九重町社会福祉協議会「みんなが主役の地域づくり」 ～ふれあい地域食堂～

少子高齢化や人口減少が進む九重町では、「めざそう!人交密度日本一!」をスローガンに、地域住民がともに支え合い、誰もがいきいきと暮らせる地域づくりが進められています。

### 地域住民に親しまれている「ふれあい地域食堂」とは?

地域づくり活動の中で特に親しまれているのが、「ふれあい地域食堂」。

同じ地区に住む乳幼児から高齢者など様々な世代が、「食」「遊び」「語らい」を通じて、世代を超えて誰もが参加し、なじみの関係が生まれる寄り合いの場です。



### きっかけはリーダーの想いから

平成28年に実施した支え合い人材養成講座(現:支え合いリーダー養成講座)。修了者が「閉じこもりがちな方や孤立しがちな方を地域とつないでいく役割が私達にありそうだ」という思いから、高齢者と子どもをつなぐ団欒の場として、平成29年にこども食堂を始めました。

### こども食堂から多世代地域食堂へ

こども食堂を進めていく中でこども食堂が「イベント」になってしまい、地域住民同士のつながりづくりがうまく出来ない事もありました。

「こどもだけでなく、もっと全世代が自分の居場所として感じられるような場にならないか…」そう思っていた時に、別府市にある「あおやま広場」が、多世代交流の場として活動していることを知り、「私達もこれでいこう!」とこども食堂を「多世代地域食堂」へと変更しました。

東飯田地区から始まったふれあい地域食堂も、町内4地区に広がりました。こどもにとっては「地域デビューの場」高齢者にとっては「地域再デビューの場」として、どの地区も住民が様々な形で参画し、特色を生かした活気のある場となっています。

### 「できる人」が「できること」を「できる時に」

「よかったら使っちゃくれ」と地域の方や取り組みに賛同した地元企業などから、新鮮な野菜や卵、お米などの食材が、会場となる各地区の公民館に届きます。

「私が連れていかなきゃ忘れてしまうからね」と近所の方が、認知症の高齢者を誘って食堂へ。「会場まで歩いて行けない」という方には、今年から始



まった「参加支援」活動でカバー。近隣やボランティアの方が車で送迎してくれます。

運営者も参加者も関係なく「できる時に」「できること」をするのがモットーです。



### 誰もが主役になれる場所

会場設営や受付では、こどもや障がいのある方が「これは僕がやる!」と自分の役割を見つけて動いてくれます。

けん玉や竹とんぼ、こま回し…昔の遊びや季節に応じた飾りつけや凧揚げ、焼き芋づくりは「おいちゃん達」の出番。



届いた食材を活かした即興料理は、ボランティアの調理スタッフの腕の見せ所。手作りの料理を挟んでこどもと地域の方が向かい合い、自然と会話も弾みます。

ふれあいゲームでは、小さな手と人生を刻んだ手がやさしく重なり、「大きくなったね」と目を細め、元気をもらい、やさしさを返す高齢者…。こどもには望ましい高齢者観、地域観が芽生えます。

私達の町に生まれた大切なこども達。町内では知らない人が少なくなり、互いに元気な挨拶が飛び交います。

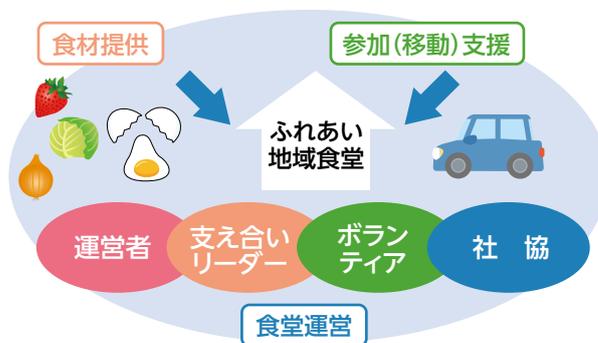


### 食堂を通じて変わったもの

食堂での地域づくりを通して様々な変化が見えてきました。

毎週土曜日にデイサービスに通っていた高齢者が、食堂開催の日だけは、デイサービスをお休みして食堂へ。今や欠かせない「用事」です。

また、食堂に通っていた小学生が中学生に。「今度、食堂を手伝って!」「もちろん!」と今や立派なスタッフになりました。



ゲストでもホストでもなく、皆が役割を持ちふれあい、つながる場

ふれあい地域食堂を通じて、地域住民みんながふれあう中でつながっていく。そこで生まれたなじみの関係が気にかけて合う関係になっていく。こうした日頃のつながりが、災害時等いざという時にも住民同士が気にかけてあう意識にもつながります。それが安心して暮らし続けられる地域づくりとなっています。

九重町社協が地域住民と育んできた「思いやり」の心は、人口減少が進む町でしっかりと根を張り、大きな花を咲かせています。

## ②別府市社会福祉協議会「住民と社協をつなぐ地域産業との協働」 ～かけはしパートナー店事業～

別府市社会福祉協議会では、「自分らしく過ごせるぬくもりと支え合いのまち」を目指し、4つの「わ」と11のアクションに基づいた様々な活動に取り組んでいます。

### 困っている人をつなぐかけはしに

お金のことや仕事のこと、いろいろな悩みを相談する窓口がありますが、それは市役所や社会福祉協議会に限らないかもしれません。

そんな思いで取り組んでいるのが「かけはしパートナー店」事業です。これは、別府市内の商店や事業所などが日頃関わりのあるお客などから受けた相談事を、社協につなげ、必要な支援を届けることができるようにするというものです。



登録ステッカー



### 地域産業から広がる支援の輪

事業を進める中で、かけはしパートナー店から社協へ相談が入るようになり、その後の支援へとつながるようになり、より福祉ニーズをつかむ事ができるようになりました。

### きっかけはお店から聞いた話

ある小売店から、家族の介護や生活の困りごとについてお客さんの相談を受けていたと聞き、「こういう相談を他にも受けているお店があるんじゃないか」「社協と地域のお店とつながれば、もっと支援の輪が広がるのでは」ということで、令和4年6月から「かけはしパートナー店」事業を創設し、地域産業とのつながりづくりが始まりました。

### 地域産業がどんどん仲間に

最初にかげはしパートナー店に登録いただいたのが、別府で有名な老舗居酒屋「九丁目の八ちょう目」。



第1号店登録を皮切りに、整骨院、NPO法人、医薬品卸、金融機関、美容室、文具店等、様々な分野のご協力をいただき、現在は19店舗（令和6年11月時点）が登録をしています。

### 【例】

近隣住民で生活に困っている人がいる  
家族の介護が困っている  
隣人トラブル 等

また、かけはしパートナー店同士の意見交換会も行いながら、お店同士のつながりや意識醸成も図っています。



### 困りと支援をつなぐかけはしに

相談窓口が「地域のお店」という身近な場所にある事で、相談者も安心して地域で暮らし続ける事ができます。また、地域産業にも困りを抱える人に気づく視点が根付きます。

関係機関だけでなく、地域産業とも協働した支援体制づくりとなっています。



# 「PayPay」で赤い羽根共同募金へ ご寄付いただけます！



2024年10月より、オンライン上の寄付の支払い方法として、PayPay株式会社が提供するキャッシュレス決済サービス「PayPay」を導入しました。集まった募金は、じぶんの町を少しでも良くしようと頑張っている社会福祉法人、NPO、ボランティア団体・グループ等の子育て支援や高齢者・障がい者支援の活動のほか災害ボランティア活動などへ役立てられます。

2つの  
寄付方法

〈記名(個人情報を登録/ログイン)のうえで寄付する〉



- ・1回あたりのPayPay寄付可能額 500円～30万円
- ・領収書は発行できません
- ・他の寄付方法(クレカ、コンビニ、スマホキャリア決済等)も選べます

〈匿名(個人情報を登録しない/ログインなし)で寄付する〉



- ・1回あたりのPayPay寄付可能額 100円～1万円
- ・領収書は発行できません



〈PayPayによるご寄付の注意点〉

- ※PayPay残高(PayPayマネー)のみ利用可能です。PayPayマネーライト、「PayPayポイント」、PayPayクレジットは利用できません。
- ※「PayPayマネー」は、本人確認後に銀行口座やセブン銀行ATM、ローソン銀行ATM、Yahoo!フリマ・Yahoo!オークションの売上金を利用してチャージしたPayPay残高です。
- ※寄付金額に対しての「PayPayポイント」の付与およびPayPayステップは対象外となります。
- ※「PayPay」で利用できるのは「今回のみ寄付」(単発寄付)のみです。毎月の継続寄付には、現時点で「PayPay」は利用できません。



## 赤い羽根募金の使いみち! ちょこっと紹介!

災害支援



災害ボランティア活動



子どもたちの交流支援



子ども食堂の運営

相談支援



悩みごとの電話受付

学びの支援



就学困難者への指導

障がい者等への支援



個別動作トレーニング

### 社会福祉法人 大分県共同募金会

〒870-0907 大分市大津町2-1-41(県総合社会福祉会館3階)  
TEL:097-552-2371 FAX:097-552-6250  
E-mail:kyoudoubokin@oita-akaihane.or.jp

大分県共同募金会の  
ホームページをご覧ください

大分県共同募金会



www.oita-akaihane.or.jp



# 災害に立ち向かう能登半島 ～大分からの支援の記録～

昨年の能登半島地震後、石川県珠洲市の災害ボランティアセンターへ県内の社協職員を派遣し、運営支援を行いました。

また、被災した高齢者や障がい者の施設へは、大分県内の多くの福祉施設・事業所から介護職員等が派遣され、入所者の暮らしを支えました。

避難所へは災害派遣福祉チーム(大分DWAT)が派遣され、避難している高齢者等で福祉的支援が必要な方々のニーズを把握し、より快適に避難生活が送れるよう環境改善を行いました。



令和6年1月1日16時10分、石川県・富山県・新潟県で最大震度7を観測する大地震が発生しました。この新年早々の災害は、多くの人々に「災害はいつ起きてもおかしくない」ことを改めて実感させました。

今回の地震では、災害関連死を含む500名以上が亡くなり、負傷者は1,200名以上、住宅被害は一部破損を含め84,000棟以上に及びました。この規模の被害は、阪神・淡路大震災を超えるとも言われています。

※石川県が発表している情報を基にしています。詳しくは、石川県庁ホームページを参照ください。

このような中、私たち社会福祉協議会や県内の福祉施設・事業所では、地震発生直後から被災地支援を続けています。

## 九州ブロック社会福祉協議会 災害支援協定による支援

社会福祉協議会では、平時からボランティア活動や市民活動の推進に努めています。

大規模な災害発生時には、被災地の生活再建に向けたボランティア活動を効果的に行うために災害ボランティアセンターを設置し、被災地の支援ニーズの把握・整理を行いながら、ボランティア活動を希望する個人や団体の受入れ調整やマッチングを行っています。

さらに、大規模な災害が発生した時に備え、九州の各県・指定都市社会福祉協議会と協定を結び、県域を超えた相互支援を行うとともに、九州以外で災害が発生した時にも、地域を越えて助け合う仕組みを構築しています。





今回の能登半島地震を受け、県内の社会福祉協議会では、4月から11月末まで、計13回35名・延べ171名の職員を派遣しました。現在も被災地の珠洲市ボランティアセンターの運営支援は継続しています。

現地では、次のような活動を行っています。

- ・受け付けた支援内容の整理
- ・現地住民の被災状況の聞き取りと、ボランティアの必要性の確認
- ・技術系ボランティアによる倒壊したブロック塀や灯籠の解体作業と、一般ボランティアによる搬送・処分

被災地が、日常を取り戻すため、ボランティアの皆さんが力を発揮できるよう、引き続き支援を行っています。

### 介護職員等の応援派遣

能登半島地震の発生に伴い、高齢者や障がい者などの施設の介護職員の多くが被災し、通常どおりの勤務ができない状況となりました。社会福祉施設の入所者等の生活を確保するために、「厚生労働省・災害福祉支援ネットワーク中央センター」(全社協)を通じた登録・応援派遣が行われました。

県内からも13法人、28名・延べ120名が派遣され、石川県の高齢者施設等で、食事や入浴など生活全般の介助を行いました。

### 【派遣者】 ※派遣順・敬称略

坂本 恵理	徳光 道子	奴留湯 真也
田中 仁也	上平瀬 典行	野見山 晃
吉武 文佳	末棟 久美子	室田 竜也
徳光 奈緒	飯田 福子	古澤 英俊
本多 景示	衛藤 大輔	松岡 祐志
河合 規充	小山 智司	長谷 健太郎
松原 亮太	原田 竜二	佐々木 智彦
佐藤 一彦	後藤 慎	池辺 立身
後藤 舞香	深田 七海	園田 大貴
釘宮 慶太		

## 大分県災害派遣福祉チーム (大分DWAT:でいーわっと)による支援

大分DWATは、一般避難所に避難されている高齢者・障がい者・妊産婦等の要配慮者に対して、それぞれの状況に合わせた福祉的な支援、被災者の生活に寄り添った支援を行うことで、避難所での健康状態悪化による2次被害(災害関連死)の防止や、安心した避難生活のサポートを行います。

今回の能登半島地震を受け、石川県から都道府県に対しDWATの派遣要請が出され、大分県からも1クールあたり3名×4クール、計12名の派遣を行いました。大分DWATとしては、令和5年7月豪雨以降2回目の被災地へのチーム派遣となりました。



第1クール(3/9~12)、第2クール(3/13~16)第3クール(3/17~20)、第4クール(3/21~24)は、石川県珠洲市の避難所の巡回を行いました。

活動したチーム員からは、「初めての活動ということもあり不安もあったが、少しでも力になれば嬉しい」「また機会があればぜひ協力したい」といった力強い声をいただきました。

大分DWATとしても、今後の活動を考えるにあたり、多くの課題に気付くきっかけとなりました。いつ起こるか分からない災害に備え、引き続き大分DWATのチーム員の養成や、資質向上に取り組んでいきます。

現在も多くの方が避難生活を送っており、特に奥能登地域では被害が大きく、断水が続く地域もあります。一部の方は地元を離れ、慣れない土地での避難生活を余儀なくされています。

社会福祉協議会や福祉施設・事業所では、地震発生直後から被災地支援を続けています。現地での支援活動を通じて、被災された方々が少しでも安心して生活できるよう努めています。

被災地支援は長期的な取り組みが必要です。私たちは、引き続き現地の状況を見守りながら支援を行っています。

大分県ボランティア連絡協議会だより



Nihō

# 学ぼう! 広げよう! 高めよう! 福祉ボランティア パワーアップ講座

県社協と共催のこの講座。今年度からより多くの方にご参加いただけるよう「福祉ボランティアパワーアップ講座」に改名し、内容もパワーアップ! 11月から12月にかけて、全5日間8講座を実施しました。

- ①コミュニケーション ②健康ゲーム(eスポーツ)



ゲームをする人も見ている人も楽しめました。地域で参考にしたいです。

自然の中での楽しみ方、子どもたちにも体験させてあげたいと思いました。



初めての体験。小さなものの存在に気をつけてみようと思いました。

③視察研修 ④ネイチャーゲーム ⑤消費者被害の実態と対策 ⑥苔テラリウムづくり ⑦発達障がいの理解 ⑧ボランティア活動の新たな価値、と多種多様な内容は、学びはもちろん笑いあり、発見ありと参加者の皆さんのいきいきした表情が印象的な時間となりました。参加者同士の交流もこの講座の魅力であり、グループワークも大いに盛り上がりしました。

講座に参加することで新たな発見や技術を学び、それをぜひ持ち帰って日々の活動に活かしていただけたらと思います。

## ＼ みんなが元気になる地域づくりをめざして /

# 第21回大分県ボランティア・NPO推進大会

1月22日、～あなたと地域が輝く! 未来をつくるボランティアとNPOのチカラ～をテーマに、「第21回大分県ボランティア・NPO推進大会」を開催し、大分県総合社会福祉会館会場とオンラインあわせて186名の方にご参加いただきました。

前半は、鹿児島大学 法文学部 法経社会学科の金子満教授から「みんなが元気になるコミュニティづくり～地域共生社会を目指して～」と題して基調講演がありました。「弱点があるからこそ人はつながり、力を引き出しあうから面白い」「『～したい(want)』と行って行動することこそ私たちの元気の源。本来の目的は何かを問い直し、できるこ



と・できないことを互いに認め合い、ワクワクを生み出すための『引き算』の視点が必要」との内容に、これからの活動のヒントがたくさん詰まっていました。

後半は、活動発表を行いました。①『APUフードバンク彩鳥』から食品ロスや貧困問題の解決に取り組む学生の取組み、②『ちょこっとお助け隊またま』から身のまわりのちょっとした困りごとを登録ボランティアが代行する活動、③『かたつむりの会』から文字を音声に変換する音訳の活動、④『サンキューカット大分』から理容師が養護老人ホームで利用者の散髪をするボランティアカットの取組み発表があり、県内のさまざまな取組みから活動のあり方をふり返ることができました。



# あなたの作品お待ちしております 第36回豊の国ねんりんピック「美術展」作品募集

- 対象となる方
- ・大分県内にお住まいの60歳以上の方  
(昭和41年4月1日以前に生まれた方、令和7年度中に60歳になる方を含む)
  - ・作品制作や指導により、生計をたてていないアマチュアの方

- 部 門
- ・日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真 の6部門と  
共同制作の部(デイサービスやサロン活動等)で団体が創作された作品  
(6部門はねんりんピック岐阜2025美術展選考)



- 出品点数
- ・出品作品は、部門ごとに1人1点 ただし日本画及び洋画はどちらか1点
  - ・出品者により創作されたもので、他の公募展に発表していない未発表のものとします

- 出品料
- ・無料 ただし、作品の搬入・搬出に要する費用は、出品者の負担

- 申込期間
- ・出品を希望される方は、令和7年1月6日(月)から3月14日(金)の間に  
出品申込書をお住まいの市町村高齢者福祉担当課に提出ください
  - ・出品申込書は本会HPからダウンロードできます



- 作品の搬入出
- ・お住まいの各市町村へお問い合わせください

- 展 示 等
- ・提出された作品は、令和7年5月13日(火)から5月18日(日)まで  
大分県立美術館3階展示室Bで展示します

## ねんりんピックはばたけ鳥取2024 大分県選手団が健闘！

令和6年10月19日(土)から22日(火)にかけて鳥取県で開催された「第36回全国健康福祉祭とっとり大会」。この大会に大分県から92名の選手団が参加しました。総合開会式は、あいにくの雨天となりましたが、選手のみなさんの熱気が冷めることなく、スポーツや文化活動を通じて交流を深めました。今回、競技代表者がLINEグループでつながり、違う競技の選手同士がお互いの健闘を称えあう場面もありました。

また、大分県代表として美術品12点を出品。芸術面でも輝きました。

### ◇大分県選手団の主な結果

- 剣道 団体戦:優秀賞(決勝トーナメント)ベスト16入賞
- 将棋 個人戦:優秀賞  
(二十世紀梨ブロック)準優勝 織田秀次郎さん(大分市)

### ◇美術展入賞作品

- [工芸の部] 銅賞 内田 孝久さん(大分市)「学び舎の記憶」
- [日本画の部] 最高齢者賞  
中山スエ子さん(大分市)「冬来たりなば」



将棋の部大分県代表のみなさん



# あすぴあ豆知識（教室メニューからのご紹介）

第2回

## 【いきいきリフレッシュ教室】

11月から3月までの間、毎月3回水曜日に開催し、日常生活の中で取り組める簡易な運動を学びます。参加費は無料で、健康増進、身体機能の維持・向上を目的としています。



## 【参加者の体験談】

教室では、簡単な運動や、リズムに乗った運動、頭を使う運動があり、楽しく身体を動かすことができます。講師はととてもユーモアのある方で、いつも笑わせてもらっています。また、椅子に座った状態で行うので、自分のできる範囲で無理なく参加できます。軽い運動をしたい方にお勧めの教室です。

## 【自宅でできる健康運動】

### ○健康ゆすり

「健康ゆすり」は椅子に座っているときに、体の一部分、特に膝やかかとなどを小刻みに揺らし続ける行為です。変形性股関節症の対策やエコノミー症候群の予防、冷えやむくみの改善が期待できます。



## 令和7年度 教室参加者募集!

**参加対象** 障がいのある方とそのご家族

### スポーツ・レクリエーション教室

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 親子スポーツ      | ボッチャ        |
| 親子水泳        | フライングディスク   |
| 卓球バレー       | ドローンサッカー    |
| スポンジテニス     | eスポーツ       |
| スポーツウエルネス吹矢 | 水泳パーソナルレッスン |

### 趣味・文化教室

- 料理
- 絵画・造形
- 実用書道
- 絵手紙
- パソコン・スマホアドバイス
- おりがみ

### 機能回復訓練教室

- 水中ウォーキング
- 水中リフレッシュ
- いきいきリフレッシュ
- リハビリ運動
- 園芸療法

教室受講申込用紙でお申込みいただけます。詳しくは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ

## 大分県身体障害者福祉センター（愛称：あすぴあおおいた）

住所：大分県大分市大津町2丁目1番41号  
電話：097-558-4849  
Mail : asupia16@oitakensyakyo.jp  
ホームページ：<https://www.sc-oita.net/>



ホームページ



## 令和7年度開催予定の大会

- |               |           |
|---------------|-----------|
| 将棋交流大会        | 6月15日(日)  |
| サウンドテーブルテニス大会 | 7月13日(日)  |
| 囲碁交流大会        | 7月26日(土)  |
| ふうせんバレーボール大会  | 9月 7日(日)  |
| 卓球バレー大会       | 11月 8日(土) |
| あすぴあフェスタ2025  | 11月23日(日) |
| フライングディスク大会   | 12月 7日(日) |
| 県社協会長杯卓球大会    | 2月22日(日)  |
| スポーツウエルネス吹矢大会 | 3月 1日(日)  |

※開催日は変更になることがあります。



## あすぴあ倶楽部の 参加をお待ちしています!

あすぴあ倶楽部は、参加者自らが主体的に運営しており、「切り絵」、「おりがみ」、「将棋」などの各倶楽部で、楽しい時間を過ごしています。興味関心がある方の積極的な参加をお待ちしています。

どなたでもご参加いただけます。詳しくは左記までお問い合わせください。



# 大分県保育士・ 保育所支援センター

大分県福祉人材センター内  
(大分市明野東3-4-1)  
TEL:097-578-7330

※【開館時間】8:30~17:00【休館日】毎週月曜日・祝日

大分県からの委託を受け、大分県社会福祉協議会が大分県福祉人材センター内で事業を行っています。  
これから保育の資格を取りたい方、保育職への復帰を考えている方など“保育職に携わりたい!”と考えているすべての方を対象に、相談会や保育施設の紹介を行っています。

## 主な支援内容

### 大分県公式保育士就業 支援サイト「保育おおいた」



<https://hoiku-oita.jp/>

大分県内の保育施設を検索でき、求人情報はもちろん、保育に関するイベントや研修の情報も随時更新されるため、新しい情報を確認することができます。登録をすると、気になる求人情報にはサイトから、見学や体験、面接の応募ができます。働いている方も、無理なく保育施設とのやり取りが手軽にできるサイトです。

### 保育のしごと相談会



事前予約  
不要!

お気軽にお越しください。  
※相談会日程、詳細は「保育おおいた」に掲載中!

ハローワーク(県内7ヶ所)にて開催!  
「働きたいけど、どこの園にしようか迷う...」「ブランクがあるから心配...」そんな悩みをお持ちの方でも大歓迎!相談会では希望や状況をお聞きし、一人ひとりに合った情報提供を行います。相談会以外の日でも電話や支援センターへの来所で相談可能です!

### 保育施設での保育体験支援



体験日や体験時間は希望をお聞かせいたします。  
申込詳細は「保育おおいた」で確認、または、保育士・保育所支援センターまでご連絡ください。

保育施設ごとの保育の特色を感じたり、働く雰囲気やイメージしたりすることは就職先を考えるにあたって大切なことです。  
支援センターでは、安心して保育体験をしていただける「保育のおしごと体験」を行っています。保育施設とのやり取りは、支援センターが仲介しますので、安心してご相談ください。

## 6月下旬:保育施設が集まる「保育のしごと就職フェア」を開催予定!

※詳細は大分県公式保育士就職支援サイト「保育おおいた」と公式LINEで随時更新。



## 保育士修学資金貸付制度のご案内

短大や専門学校などの保育士養成施設に在学し、保育士の資格取得を目指す方に修学資金の貸付を行う制度です。

無利子で  
お貸しします!

貸付  
内容

修学資金  
月額5万円以内

入学準備金  
20万円以内

就職準備金  
20万円以内

返還  
免除

卒業後、大分県内で5年間(※)  
継続して保育士の仕事に従事

※過疎地域勤務者等の場合は3年間

全額  
返還免除!



申込先 在学中の保育士養成施設/お問い合わせ 大分県社会福祉協議会 福祉資金部 ☎097-515-7771

# 広がる善意の輪

-Hirogaruzeninowa-



ホームページ、Facebook、Instagramにも掲載しています。ぜひご覧ください！



Instagram Facebook ホームページ

昭和37年5月1日、全国で最初に誕生した本会の善意銀行は、各方面の深いご理解とご協力により支えられています。誰かを思いやる気持ちによって広がる善意の輪を一部ではありますがお届けします。

## 大分県文具事務機商組合連合会



フードバンクへご寄贈をいただきました。

## 大分県サッカー協会



子ども食堂へご寄附をいただきました。

## (株)ニューグロリアリゾート



児童養護施設へご寄附をいただきました。

## マルミアストア 大分フットボールクラブ



フードバンクへご寄附・ご寄贈をいただきました。

## 大分トヨペット



子ども食堂へご寄附・ご寄贈をいただきました。

## 大分放送



児童養護施設へご寄附をいただきました。

### 寄附・寄贈いただいた皆様 (R6.7月~R6.11月※掲載辞退者及び上記掲載分を除く) 50音順 敬称略

アテオ  
イオン九州株式会社  
インホープ株式会社  
NTT大分グループ  
王神財団  
大分県教職員組合  
大分県教職員指定整備工場協議会  
大分県生涯学習インストラクターの会  
大分県信用保証協会  
大分県中部振興局  
大分合同新聞社  
大分みらい信用金庫  
大森康正  
小野高速印刷株式会社  
株式会社アシタエ  
株式会社サンリブ  
株式会社ジャパンセミコンダクター

株式会社トキハ  
株式会社トキハインダストリー  
株式会社トキハ物流サービス  
株式会社レイメイ藤井  
カルゲン製薬株式会社  
九州電力株式会社  
九州労働金庫  
くすのき子ども園  
公益財団法人老人はげみの里見会  
光薫寺  
コープおおいた  
三金商事株式会社  
JAおおいた女性部  
嶋田秀彦  
白玉ふあちゃん。  
新鮮市場判田店  
セブン-イレブン

専想寺  
第一生命保険株式会社  
大和リース株式会社  
西山泰博  
ホンダ販売労働組合  
マルハン高城店  
マルミヤストア金池南店  
マルミヤストア坂ノ市店・鶴崎森店  
マルミヤストア戸次店  
ミサワホーム九州株式会社大分支店  
ミスターマックス西大分店  
有限会社みどり調剤薬局  
ゆめマート宇佐店  
ゆめマート中津店  
ゆめマート日田店  
YKK AP株式会社



いつもご協力をありがとうございます  
令和6年度 賛助会員 (9月以降加入者)

合同会社 インテリアフェスタ  
老人保健施設六和会センチナリアン

### 編集後記

早いもので令和6年度も終わりを迎えます。来年度も皆さんに良い広報誌をお届けできるよう班員一同頑張ります!(M)  
気づけばもう3月...瞬間に年度末となりました。綺麗な環境で新年度を迎えられるよう、身の回りの片付けを進めたいと思います。(K)  
IT化やデジタル化と言われる時代ですが、ページをめくることで本の重みが移りゆくのがいいなと思うこの頃です。広報誌もそんな存在になれたらなんと!(O) 23年ぶりの広報誌作成です。レイアウトや写真の集中講座を思い出します。(F)